

ハイキング部会からの報告 ハイキング部会長 阿部 博行

8月2日(日) 長野県佐久市北八ヶ岳ハイキング

コロナ禍の最中でしたが、コロナ対策に万全を期して、バスを仕立ててのハイキングを挙行しました。48期の第一弾として伊丹会長も参加、北八ヶ岳の白駒池へ。そこは一步踏み入れればこの世とは思えない息を呑む神秘の世界。神秘的な苔と原生林は正にジブリの世界でした。一行はマイナスイオンを体中に吸収し、ますます健康体で楽しく遊んできました。



ゴルフ部会からの報告 ゴルフ部会長 津久井 智一



◎ 10月11日(日) 太田双葉カントリークラブ

本年度第1回目のゴルフコンペは、太田双葉カントリークラブにて、11組41名で開催致しました。前日までの台風の影響で、朝は少し雨が残ったもののスタート時には止み、午後からは晴れました。今回はコロナ対策として、前半スコアによる集計や表彰式の開催無しなど制約の中でのコンペとなりましたが、皆様のご協力によりつつがなく終了する事ができ本当にありがとうございました。優勝およびベスグロは、中川善幸さんでした。

次の開催は2021年6月を予定しております。より多くの方のご参加お待ちしております。

◆◆◆ 新入会員のご紹介（敬称略） ◆◆◆

① 生年月日 血液型 ② 勤務先 ③ 趣味

五十嵐 淳人



① 昭和55年11月21日生 A型
② 株式会社トーカイ 営業部 課長代理
③ 野球

植木 久美子



① 昭和53年11月15日生 A型
② コストマリア
③ 映画鑑賞

村井 裕紀



① 昭和53年11月16日生 B型
② 凰凰ゴルフ倶楽部 副支配人
③ ゴルフ

編集後記

出稿者の方、そして委員会メンバーの協力でこの広報誌を発行できたことに感謝します。中でも原稿収集が労せずして終わったことはとてもありがたいことでした。
世間では“感染”、“陽性”、“マスク”、“自粛”など減入る情報過多が続きますが、流されることなく、“なんとかなるし、なんとかする”の気概をもち、そして【試行錯誤】して、倦まず弛まず、48期後半に臨みたいと思います。

THIS IS OUR SPIRITS

東毛地区の眞のリーダーとなるべく全会員で叡知を結集していく。
東毛地区的政治経済・文化を通じ、地域社会に貢献していく。
自己の向上を目指し、会員相互親睦と研鑽を積み重ねる。

Do you

ド 一 ュ ウ

東毛経済同友会 第48期 会報誌



発行責任者 東毛経済同友会 会長
発行 広報委員会
発行日 2020年12月吉日

「【試行錯誤】～変化に備えよう～」 第48期会長 伊丹明尋

「試行錯誤」をテーマに始まった48期も5ヶ月が過ぎようとしています。活動自粛要請のため、思うように集まることが出来ず、運営委員会、合同委員会が開催できませんでした。そのため各委員会への予算配分がうまくいかず申し訝なく思っています。

そんな中でも、少しずつ自粛要請が緩和され理事会が開催できるようになりましたが、冒頭の挨拶では「金山清掃が中止になりました」「柔道大会が中止になりました」「点灯式は行いません」と発表するたびに今年は何もできない一年になるのではないかと不安になりました。しかし、ふたを開けてみると7月の総会、10月、11月の講師例会では大勢の方々に出席していただけました。担当委員会の皆さんのが工夫を凝らし、コロナ対策をしっかりと行い、また同友会では初となるリモートでの例会参加を実現してくださいました。初の試みにテストを繰り返しご苦労されたこと思います。

48期の後半も担当委員会の皆さんのが工夫を凝らしていただけると思います。会の活動がますます活発になるようご協力よろしくお願いいたします。

試行錯誤の一年は『感謝』『感謝』の一年になりそうです。

総務委員会

委員長 服部 忠夫



◎ 7月15日(水) 於：マリエール太田

定期総会開催・懇親会は中止

今年はコロナ禍において開催も危ぶまれましたが、84名という多数のご参加を頂き素晴らしいスタートを切る事ができました。伊丹会長の挨拶では「【試行錯誤】～変化に備えよう～」のスローガンを掲げ、その後の議事においてもスムーズに承認を頂きました。しかしながら新型コロナ対策の為、懇親会を行うことができず残念なりません。こんな時期だからこそメンバー全員で力を合わせて乗り切って行く事を願うばかりです。

皆様のご協力により総会が無事終了できた事、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。3月総会に向け委員会一同全力を尽くして参ります。

48期伊丹会長を支える皆様

今期にかける思いを語って頂きました

副会長 川上明彦



本年度の伊丹会長の考える運営方針等に共感する部分が多く、副会長という大役を務めさせていただくこととしました。しかしながら今年度は昨年度後半からのコロナウィルス感染症の影響で思ったような会の運営が出来ていませんが、少しでも多くの楽しく盛り上がる事業の運営を会長とともに心掛けたいと思います。残す半期、伊丹会長及び会員の皆様を楽しく盛り上げるよう微力ではありますが、頑張りたいと思います。

副会長 大谷幸徳



伊丹会長の下、副会長として社会福祉委員会と企画委員会を担当させて頂き、上半期が終わろうとしています。コロナ禍の中、予定していた例会も開催できず、両委員会メンバーも歯がゆい思いをしていますが、下半期に内容のある例会開催に向けて、伊丹会長のスローガンである【試行錯誤】を繰り返しています。また、魂を込めて伊丹年度を盛り上げ、サポートして参りますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

副会長 辻 智章



今年度、広報及び環境保全委員会の担当副会長を務めさせて頂いております。コロナ禍で思うように各委員会が活動できない日々が続きましたが、少しずつ活動の動きが出て来たように思います。この様な状況の中でも、同友会の活動目的であります地域社会への貢献、自己の向上、会員相互の親睦のために各委員会がコロナ禍の状況に沿った活動ができますよう、運営に携わっていければと思っております。会長の掲げた【試行錯誤】の方針通り、皆様のご協力、ご指導を仰ぎながら全集中で取り組んでまいります。宜しくお願ひ致します。

副会長 石井洋平



入会7年目にて副会長という大役を仰せつかりました石井です。48期の総務委員会、会員委員会の担当副会長として、今までの経験をいかして伊丹会長を応援して行きます。

また、コロナ禍の状況にてなかなか例会を実施出来ない状況ですが【試行錯誤】をして会員皆様と一緒に実りある1年を築き上げる努力をしていきます。

1年間宜しくお願ひ致します。

専務理事 梶塚正志



今年度専務理事を仰せつかりました、梶塚正志です。

入会年度は第38期、ちょうど10年目の節目の年にこのような大役をいただき、大変身の引き締まる思いです。今年度の会長基本方針「【試行錯誤】～変化に備えよう～」を念頭に、微力ではありますが会の発展に繋がるよう努めて参ります。

一年間宜しくお願ひ申し上げます。

経済文化委員会

◎ 10月29日(木) 長谷川まさ子氏講演会

於：ティアラグリーンパレス

経済文化委員会は10月例会を10月29日(木)に開催致しました。参加者はリモート出席者10名を加えて79名となりました。本年は年頭からのコロナ騒ぎのため暗い雰囲気の年と成ってしまいました。その為、第1回目の例会は、文化的で明るい話題のされる方を熱望しておりました。そこで太田市出身でレポーターとして活躍されておられます「長谷川まさ子様」に依頼致しました。当日はとても明るい雰囲気で例会が進み、参加者の方々から活発な質問も多く出ました。

今回の例会で初めてリモート発信を行いましたが、経験不足も有りご迷惑をおかけしました。謹んでお詫び致します。

最後に皆様のご協力により例会が無事終了出来ました事を感謝致します。



《長谷川まさ子氏プロフィール》
群馬県太田市出身。大学卒業後、『鈴木くんのこんがりトースト』のアシスタントデビュー。その後、『大沢悠里のゆうゆうワイド』放送開始から7年6月の間、初代パートナーとして出演した。平行してバラエティ番組や広報番組のリポーターをしていたが、後に『3時にあいましょう』の出演を機に、芸能リポーターに転身。

国際委員会

委員長 尾上 弘晃

ノンフィクション作家 河添 恵子氏 ■



心より感謝申し上げます。今回の例会開催では、3密対策やりモート形式などニューノーマルな形での開催となりましたが、国際委員会メンバー間で試行錯誤をしながら成功できたことにより委員会メンバーの絆もさらに深まったように感じます。早いもので半期を迎えるとしておりますが、引き続き会員の皆様との交流を積極的に行い、会員同士の絆を深め一致団結し同友会の明るい未来へと向かっていきたいと思います。

環境保全委員会

委員長 小堀 吉伸

本来なら最初の例会（金山清掃）を当委員会が行うはずでしたがコロナ禍のなか中止となりました。残念ですが気持ちを切り替えて次の担当例会へ向け委員会での協議を進めているところです。また東毛経済同友会が会長団体を務めます「金山を美しくする会」が50周年を迎え記念誌発行に向けて打合せを行っております。委員会ではコロナ禍中でありますながら多くの方に出席して頂き委員長冥利に尽きます。委員会メンバーと力を合わせて頑張る所存です。

社会福祉委員会

委員長 山下 明治

今年度、社会福祉委員会は、基幹のイベントであります、太田市役所のイルミネーション点灯式が中止になってしまいました。コロナ禍で委員会を開催するも、メンバーの方々もなんとなく出席することに抵抗感の様なものが生まれているような気がします。しかし、来春には移動例会を企画しており、社会福祉委員会としては2年越しの企画となります。何としてもこの例会は皆さんの記憶に残るような例会になるよう委員会メンバー一丸となり、例会の成功はもとより東毛経済同友会を盛り上げて行こうと思います。